



特定非営利活動法人アスクネット

2017年度 年次報告書



ASK NET

代表理事挨拶

2017年度アスクネットでは、ミッションである「出会いと挑戦の教育」「学び合い育ちあう共同体づくり」を実現するための中期ビジョン「2022年までに主体的な18歳を社会に送り出す仕組みづくりとその実現に向けた活動をする」を掲げました。

弊団体は、小学生から大学生までを対象にキャリア教育を行っている団体ではありますが、今回あえて18歳という年齢に焦点をあてました。子どもたちが18歳になった時、どんな心もちであってほしいか。18歳という年齢は、多くの子どもたちが進学・就職といった進路選択の重要な時期にあたります。その時期までに自分の人生をどれだけ自分の意思で捉え、主体的に生きていけるかが、個人にとってもまた社会にとっても大変重要になってくると考えています。

中期ビジョン一年目である2017年度を振り返ってみますと、一年間だけで合計57校、1,919名の高校生に対してインターンシップを実施し、また社会人講話については合計67校、18,096名の高校生に対して講座を実施致しました。これらの数字は昨年度と比較してどちらも約2倍に増えております。内容も学校の特性に合わせ、主体的な18歳を生み出す様々なプログラムを実施しました。これまでのカリキュラムや学校行事があるなか、校内調整に尽力された先生方および、生徒の受入れなど、ご協力頂いた事業所・市民講師の方々に改めて感謝申し上げます。これらの数字は学校・地域そしてそれを繋ぐコーディネーターの三者それぞれの思いが重なりあい、積み重なった結果だと感じております。

小学校・中学校での取り組みが高校へと発展的に連携していくよう、これからも新しい視点を取り入れていきます。そして18歳を迎えた若者たちが将来、主体的思考をもった市民として生き生きと活躍していく社会をともに目指していきましょう。

「学び合い、育ち合う共同体づくり」を
ともに目指していきましょう。

特定非営利活動法人アスクネット
代表理事 白上 昌子
2018年5月



年表

法人年表

1999年
愛知私学教育ネットとして事業開始

2001年
愛知市民教育ネットに改名
特定非営利活動法人
(NPO法人) 格取得

2003年
経済産業省
市民活動活性化モデル事業
高校生のための情報誌『S-ch.001』
(後の『Schan』) 創刊
※現在休刊中

2006年
アスクネットに改名

2015年
第5回キャリア教育アワード経済産業
大臣賞受賞

2017年
5カ年の中期ビジョン開始

事業年表

1999年 教育イベント支援スタート

2000年 愛知私学関連事業開始

2001年 市民講師ナビ事業開始

2003年

2004年 文部科学省 地域子ども教室推進事業 (安城まちな学校)

2005年 日本たばこ産業株式会社助成事業「中高生のための社会起業家ナビ」
経済産業省 地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト
(瀬戸キャリア教育) (再委託)

2006年 教育CSR事業開始
アイシン精機株式会社「アイシン青少年環境教育事業」
経済産業省 チャレンジ・コミュニティ創成プロジェクト
(大学生実践型インターンシップ)
高浜市「たかはま夢・未来塾」

2008年 経済産業省 キャリア教育民間コーディネーター
育成・評価システム開発事業 (中核コーディネーター)

2009年 経済産業省
キャリア教育民間コーディネーター育成・評価システム開発事業
(研修プログラム作成・実証事業)
愛知県 ふるさと再生雇用基金人材育成コーディネート推進事業

2010年 高校生公募型インターンシップ
マイチャレンジインターンシップ 開始
内閣府 地域社会雇用創造事業
ソーシャルビジネスエコシステム創出プロジェクト

2014年 愛知県 キャリア教育コーディネート人材育成事業

2015年 高浜市 学習支援事業
安城市 健康都市推進アクションプラン

2016年 名古屋市 学習支援コーディネート事業
愛知県 キャリア教育コーディネーター活用事業

2017年 大府市 大府市学習支援コーディネート事業
岐阜県 池田町 コーディネート事業

事業戦略（ミッション、事業一覧）

-アスクネットの使命・ミッション-

地域の学校・市民・企業・行政・各種団体などと協力して、互いが

「学び合い育ち合う共同体づくり」を進める。

そこでの出会いをきっかけとして、人々とりわけ子どもたちが夢や目標をもって挑戦し、その中で成長していく学習を創造する。

これらの多様な「出会い」と「挑戦」の機会を通じて、自らの人生を主体的に切り開き、社会をよりよくしていく主体者へと成長する過程を支援することで、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

-事業一覧-

対象者	事業内容	企業数	学校数	参加人数	その他	対象事業名
小学生	環境学習	7社	35校	2,574人		教育CSR事業
小・中学生	ものづくり講座	19事業所	52校	2,896人	愛知県内全域	行政委託事業 (愛知県)
小・中・高校生 (高校生のみ)	社会人講話	352名 (講師) (303名)	77校 (67校)	21,917人 (18,096人)		市民講師ナビ事業 キャリア教育コーディネーター活用事業
中・高・大学生	学習支援 (中・高) 学習支援ボランティア (大学生)			87人 57人	高浜市と大府市の 学習支援事業合計	学習支援事業
高校生	インターンシップ	のべ 743事業所	57校	1,919人	公募型26校、 学校独自型31校 (私立15校 公立16校)	市民講師ナビ事業 キャリア教育コーディネーター活用事業 公募型高校生インターンシップ事業
	大学連携PBL	15社	1大学	182人	83講座	その他自主事業
	社会人講話		3大学	311人	キャリアデザインなど	市民講師ナビ事業 ほか
一般市民	認定キャリア教育コーディネーター育成講座			10人	類計98名(2010年より)	キャリア教育コーディネーター育成事業
	ケンサチグランプリ他	3団体		97名	ケンサチフォーラム参加市民	行政委託事業 (安城市)

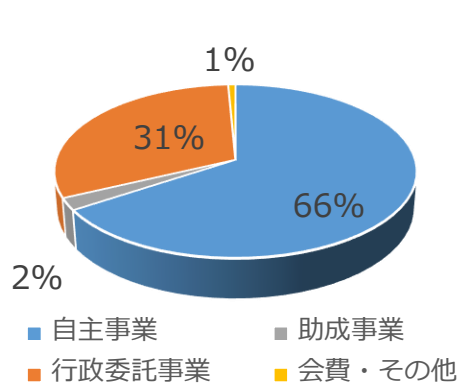
事業概況

- 2017年度事業決算 -

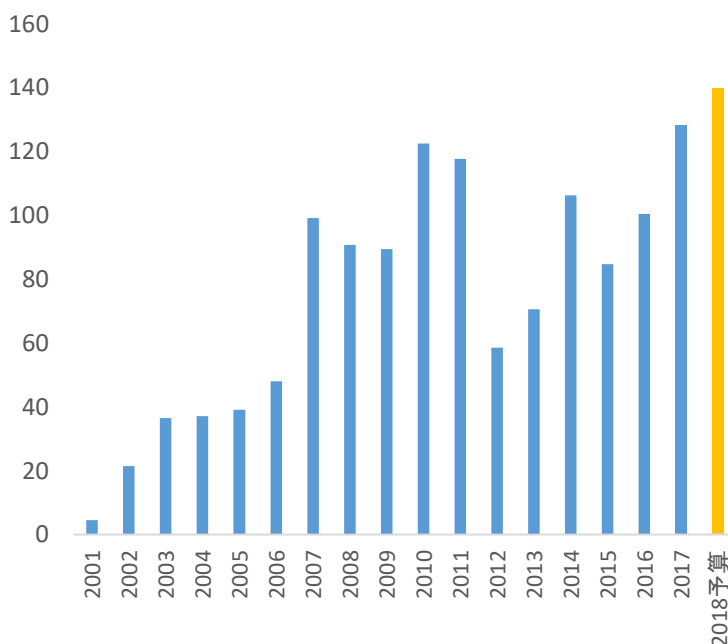
5ページ	市民講師ナビ事業	自主事業	約 6,097万円
6ページ	教育CSR推進事業	自主事業	約 1,323万円
	教育イベント推進事業	自主事業	約 329万円
7ページ	キャリア教育コーディネーター育成事業	自主事業	約 98万円
	出会いと挑戦の教育普及啓発事業	自主事業	約 231万円
	教育団体協働事業	自主事業	約 370万円
8ページ	受取助成金 (インターンシップ事業)	助成事業	約 290万円
9ページ	学習支援事業 (高浜市委託事業)	行政委託事業	約 760万円
10ページ	学習支援事業 (大府市委託事業)	行政委託事業	約 681万円
11ページ	学習支援コーディネート事業 (名古屋市委託事業)	行政委託事業	約 571万円
12ページ	キャリア教育コーディネーター活用事業 (愛知県委託事業)	行政委託事業	約 1,227万円
13ページ	モノづくり魂浸透事業 (愛知県委託事業)	行政委託事業	約 429万円
14ページ	安城市ケンサチグランプリ推進支援事業	行政委託事業	約 299万円
13ページ	池田町キャリア教育コーディネート事業	行政委託事業	約 47万円
	会費	会費	約 73万円
	その他	その他	約 22万円

計 約 12,847万円

- 事業財源内訳 -



- 事業規模推移 -



-市民講師ナビ事業-

アスクネットの中心事業の一つである本事業において、実施校は増加傾向。私立学校における、市民講師との出会いや高校生インターンシップ等を通じた体験から得た刺激や学びを次への行動へとつなげられる学習計画と授業実施において、各学校の特色に合わせたプログラムを展開した。

私立高等学校学校インターンシップ実施校

2016年度 **12**校 ▶ 2017年度 **15**校

*愛知淑徳、高蔵、椋山が新規スタート

1,045名の生徒が
インターンシップ体験活動を実施

【2017年度実施校】

愛知黎明高校、安城学園高校、黄柳野高校、桜丘高校、市邨高校、誠信高校、豊川高校、豊橋中央高校、杜若高校、同朋高校、南山高校女子部、聖霊高校、愛知淑徳高校、高蔵高校、椋山高校（計15校）

- 地域密着型のインターンシップ
- 課題解決型インターンシップ
- 街づくりと組み合わせたプログラムなど

30校 **10,766**名の生徒が
社会人講座を受講
延べ**236**名の講師が講座実施

- 従来からの職業講話やマナー講座も継続実施
- 市長を招いてのディスカッション
- 社会的課題解決方法を学ぶ講座など
従来からのキャリア教育からの派生も



インターンシップでは1,000人以上、社会人講師講座では10,000人以上の生徒に出会いと挑戦の場を提供してきた。インターンシップの受け入れや社会人講師など、子ども達の育成に多くの市民が関わり、学び合い育ち合う共同体づくりに寄与することができた。小学校から大学まで、進路多様校から進学校まで、多様な学校においてプログラムを展開し、主体的な18歳を社会に送り出していくための中心的な活動を本事業では担ってきた。

-教育CSR推進事業-

企業が教育に主体的に関わり、子どもたちの成長のみならず、企業も効果を生み出し、企業が積極的に教育に投資する潮流を生み出すことを目指す。事業実施にあたっては、行政など他のセクターとも連携。平成18年度から継続して実施している「アイシン環境学習プログラム」をさらに発展させるとともに、これまでの実績をPRし、他企業や関係講師、実施校教員との連携を強化し学習効果の最大化を図った。

環境学習（2017年度）

35校 2,574名 の児童に
年間プログラムを実施

■行政とも連携し、アイシングループ・7社の事業所のある14市町で実施

■近隣地域の小学校で環境教育を通じて将来の担い手となる児童の育成をはかる

■小学4～5年生を対象に森・水辺・くらし・産業からテーマを選定

■支援企業一覧

アイシン精機株式会社、アイシン高丘株式会社、
アイシン化工株式会社、
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社、
アイシン・エーアイ株式会社、
株式会社アドヴィックス、アイシン機工株式会社



2006年度から累計

283校 24,142名 の児童が受講

2016年度より愛知県環境部と協働で実施している「愛・シンフォニーコース」も2年目を迎え、8月に教員研修を実施し、小学校におけるカリキュラムマネジメントへの活用を引き続き貢献した。児童における環境や地域社会への意識や継続的な取組みを狙った本活動について、過去に受講した6年生への追跡調査を実施した結果、4年生時と同等か、もしくはより意識が高まっているとの回答も得られ、児童における学びの定着が見受けられる内容となった。

-キャリア教育コーディネーター育成事業-

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会との連携の下、キャリア教育コーディネーター育成講座を実施した。

2017年度

エントリーコース参加者 **10名**

実践コース 参加者 **9名**

認定試験合格者数 **8名**



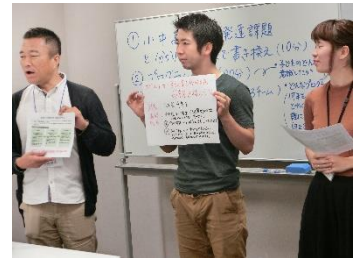
■説明会を兼ねた基礎講座 2回実施

■エントリーコース実施
(4日間にわたる座学研修)

■実践コース
(学校現場でのコーディネーション実施)

■キャリア教育コーディネーター全国大会in 福岡を7月に開催

経済産業省の橋本賢二氏、国立教育政策研究所の長田徹氏の基調講演、
テーマに分かれた分科会が多数開催され、
全国の仲間とともにキャリア教育について 研鑽を深めた



2010年より、講座受講者数
累計

98名

キャリア教育の理解・普及に貢献



今年度の育成研修は、企業勤務の方、主婦の方、大学院生の方、NPO法人勤務の方など、様々な分野から受講生が集まった。実践コースでは、スポーツ選手や理学療法士、現役アナウンサーなど、学校の要望に沿った職業の講師をあきらめずに開拓し、キャリア教育への理解がさらに広がる機会となった。研修の集大成となる報告会では、過去育成研修を受け、NPO法人を立ち上げたOGの方、企業のCSR活動としてキャリア教育を進めているOBの方にお越しいただき、トークセッションを行い、OB・OGの活躍も広く紹介することができた。

-インターンシップ事業-

2010年度から学校の実情に関係なく、愛知県内のどの学校の生徒でも挑戦できる、公募型インターンシップ「マイチャレンジインターンシップ」を実施し始めた。現在は自主事業として実施。本年度は生徒が学年が変わる直前に進路を考える機会となる事を目的に、3月中に「春休みのマイチャレンジインターンシップ」を実施した。また、愛知県内に在住する外国人の増加を受けて外国籍をルーツに持つ生徒に対しても募集のアプローチを行った。

2017年度

愛知県内の高校生 **34校 73名** が、
3～5日間のインターンシップに参加

■初年度実施の「春休みのマイチャレンジインターンシップ」には**8名**の生徒が参加

■外国籍をルーツに持つ生徒が合計**4名**参加

■累計（2010年度から）**553名**
の高校生が参加

■マイチャレンジインターンシップ報告会
には**102名**が参加



高校生、大学生、教員、受入事業所、保護者、一般市民が参加するインターンシップ報告会では、代表生徒がインターンシップでの成長エピソードを発表した。地域の大人が高校生の可能性に触発され、高校生と地域の大人との交流が生まれる場となった。報告会終了後には、様々な大人が懇親会にも参加し、アスクネットの活動を広げる機会ともなった。報告会ではマイチャレンジインターンシップのOB・OGが大学生として司会を務めた。

※企業協賛・一般寄付から構成される、「一般社団法人アスバシ」と「あいちモリコロ基金」からの助成にて実施

- 学習支援事業（高浜市委託事業） -

高浜市在住の生活困窮世帯に属する中学生・高校生を対象とした学習等支援事業。

対象生徒は、生活保護受給世帯、就学援助受給世帯、その他困窮のリスクが高い生徒（母子・父子親家庭、不登校、特別支援学級、著しい学習遅滞等）とし、毎週土曜日（夏休みは火・木・土の週3回）の9時30分から16時まで、高浜市いきいき広場で学習支援教室を実施している。生徒の学習支援は大学生ボランティア（チャレンジサポーター）が主に行い、高浜市のボランティア団体が昼食の支援を行っている。その他、生徒のキャリア教育のため、月1回程度、社会人や大学生による講座や、生徒自身によるイベントの実施等を行っている。

2017年度

61回 38名の中・高生が
学習支援教室に参加

■参加生徒

・のべ**1,263名**の生徒が参加

・一回当たり約**20.7名**

■昼食支援

・利用生徒のべ**871名**

・1回あたり約**14.3名**

・登録支援団体**17団体**

■学習支援ボランティア

・大学生 学習支援ボランティアの登録者数**29名**

・参加人数のべ**337名**（見学・体験の数も含む）

・1回あたり約**5.4名**

・チャレンジサポーター定例会3回実施

■イベント・研修会

・のべ**17回**実施

■高浜市との協力の結果

・「こども食堂支援基金」への寄付額 約**56万円**達成



昨年度に引き続き、学校や高浜市との情報共有を密に行いながら支援を実施した。参加生徒の満足度おおむね高く、高浜市の学習支援モデルを確立していく足がかりが作られつつある。また、事業が3年目に入り、学習支援の活動が地域の方々に浸透してきた様子もみられた。昼食支援のボランティア団体が中心となって、地域の子どもを対象にした子ども食堂を開設するなど、学習支援事業以外の場所でも子どもたちを支援しようという活動の輪が広がっている。

- 学習支援事業（大府市委託事業） -

本年度から大府市の委託事業として中学生に対する学習支援事業を実施した。市内の4か所の公民館を会場として、約50名の登録生徒に対する支援を行った。運営責任者として地元の方を採用し、教室運営を行った。29年度立ち上げ事業の為、行政や学校との連携や地域活動との関係性を構築した。

■ 実施回数

- ・横根公民館 38回
- ・東山公民館 37回
- ・長草公民館 38回
- ・森岡公民館 39回

合計 **152回**

■ 登録生徒数

- ・横根公民館 12名
- ・東山公民館 13名
- ・長草公民館 7名
- ・森岡公民館 17名

合計 **49名**

■ 参加生徒 延べ人数

- ・横根公民館 180名
- ・東山公民館 189名
- ・長草公民館 138名
- ・森岡公民館 214名

合計 **721名**

(1回あたり18.5名)

■ 学習サポーター

- ・学習サポーター **28名** (体験含む)

- ・1回当たりの人数平均 **5.5名**

- ・のべ **216名**

■ イベント

全児童館合計で **18回** 実施

読書感想文講座、ハロウィン、英語講座、クリスマス会
4館合同交流、1年間の振り返り など

■ 研修会

運営責任者・学習サポーター対象の研修会を **3回** 実施

- ・コーチングを活用した生徒との関わり方や学習支援の方法について
- ・大学生生活の過ごし方とコミュニケーション講座
- ・アウトリーチ研修



運営責任者として地元の方を採用し、教室運営を行うことで、地域の情報や学校の情報などを得ることができた。初年度ということもあり、行政や学校との連携や地域活動については少しずつ関係性を構築し、大府市の国際交流員を講師として招いた講座実施に至った。参加生徒の満足度も高く、順調な運営スタートを切ることができた。

－名古屋市学習支援コーディネート事業－

(名古屋市委託事業)

家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱えるひとり親家庭、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生を対象として、別に運営する「名古屋市中学生の学習支援事業」における学習支援事業受託者間の連携強化及び子どもの学習支援事業にかかるネットワークの構築をはかった。なお、本事業においては、株式会社スターシャル教育研究所とコンソーシアムを組み、「子ども縁の下サポーター」として運営を行った。

2016年度 学習支援受託業者25事業所

全68教室 合計1,020名



2017年度
学習支援受託業者27事業所

全143教室 合計1,675名の

生徒たちの運営に関するサポート
およびコーディネーションを実施



■事業実施責任者 研修会・連絡会 3回

■運営責任者 研修会1回

■学習サポーター 研修会・交流会 4回

■全体 研修会 1回 123名
(事業実施責任者・運営責任者・学習サポーター)

■受託事業所に対して、参加児童の学習計画等への相談助言等の業務実施



平成29年度は学習支援会場を143会場に拡大し、1,675名の中学生が参加した。「学習サポーターバンク」については、募集案内やホームページを活用し、142名の学習サポーターの登録につながり、希望に沿う学習会場の情報提供等を行った。研修等の実施については、本事業のより効果的な実施に向けて、各対象者について多様な研修を実施した。

－キャリア教育コーディネーター活用事業－ (愛知県委託事業)

愛知県立高等学校から16校を指定校とし、キャリア教育コーディネーターを配置することで指定校におけるキャリア教育の促進を図ることを目的とした。主に「インターンシップ等体験活動の連絡調整・企画・実施」、「社会人講師によるキャリア教育に関する講座の企画・運営」、その他指定校におけるキャリア教育の支援を実施した。

■事業の内容 愛知県内16校を指定校とし、以下の業務を実施

1. 学校との連絡調整
2. キャリア教育の実施状況とニーズの把握
3. インターンシップ等、キャリア教育に関する体験活動受入先の新規開拓と連絡調整
4. キャリア教育に関する社会人講師の新規開拓と連絡調整、企画・運営支援
5. キャリア教育コーディネート推進会議の開催
6. 進捗状況の報告

■新規参加生徒のべ **801**名が
1～5日間のインターンシップ等、体験活動に参加

■新規受入先事業所 **298**事業所が
インターンシップ等、体験活動を受入れ実施

■社会人講師 **116**名による講座を、**47**校

124回実施 のべ**11,151**名に

働くことの心構えや、職業に関する知識や技術を学び、勤労観・職業観を醸成するきっかけを提供

■教員研修会として、のべ**55**校 **62**名の
県立高等学校教員に対し、キャリア教育推進につなげる目的で研修会を実施



今年度は、インターンシップ等体験活動において、800名を超える生徒を地域に送り出した。受入先も、約300事業所を開拓するなど、県内のキャリア教育推進に大きく寄与することができた。社会人講師では県内普通科・総合学科を設置する111校すべてにアプローチし情報収集を行った。また、47校において124講座を行い、10,000名を超える生徒に社会人の「生の声」を伝えるためのコーディネートを行った。75%の生徒が「ためになった、感動したことがあった」と答えるなど、学校現場にインパクトを残した。

ーモノづくり魂浸透事業（愛知県委託事業）ー

ー池田町キャリア教育コーディネート委託事業ー

◆モノづくり魂浸透事業（愛知県委託事業）

モノづくり人材の育成を目的とした「モノづくり魂浸透事業（学校派遣事業）」を受託。平成31年度に本県で開催する技能五輪全国大会及び現在招致を行っている平成32年度技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会に向けて、県内での技能尊重気運を高め、児童・生徒に技能者への憧れやモノづくりへの関心を深めることを目的に、技能五輪メダリスト等の技能者を県内の小学校、中学校及び特別支援学校へ派遣し、授業や課外活動等において実演披露やモノづくり体験、職業講話等を実施した。

2017年度 愛知県内の小・中学生 **52**校

2,896名が、モノづくり講座に参加

■実施講座例

- ・電流が生み出すモーターについて学ぶ
(株式会社デンソーOB、名古屋大学大学院技術補佐員)
- ・ハンカチ絞り染教室
(有限会社絞染色久野染工場) など



◆池田町キャリア教育コーディネート委託事業

アスクネットで育成講座を受講した岐阜県揖斐郡池田町のキャリア教育コーディネーター2名が中心となり、池田中学校における社会人講師講座「池中15のREAL」を実施した。池田中学校の教育目標と、池田町が掲げるキャリア教育の充実を実現するために、地元の方を中心に15名の講師が生徒と対話する形で講座を行った。

■参加生徒

池田中学校3年生260名

■講師

池田町在住の講師を含む15名
美容師、保育士、看護師、消防職員、NGO職員など



今年度は、第一次メ切的段階で50校を超える愛知県内の小学校・中学校・特別支援学校から申し込みがあった。参加児童生徒を対象に実施したアンケートでは「モノづくりの仕事に興味を持ちましたか？」という質問に対し、「とても興味を持った」「興味を持った」と答えた小学生は82%、中学生は79%、特別支援学生も77%を超え、本事業によって参加者がモノづくりの仕事に興味関心を持つことに繋がった。

～安城市ケンサチグランプリ推進支援業務～

第8次安城市総合計画の目指す都市像「幸せつながる健幸都市安城」の実現のため、「平成28年度健康都市推進アクションプラン策定業務」において計画策定した事業の支援を行う。

■ 仮想理事会実施

年間でのべ**4回**の（VBA：バーチャルボードミーティング）を実施

事業実施団体、企画情報課、関係所轄課、アスクネットの4つの立場から事業成果や課題を踏まえ、今後の事業方針に関する検討を行った。

■ ケンサチフューチャーセンター

事業団体の集客や広報の課題について、市民や専門職者を交えた意見交換会を実施

フューチャーセンターとは、「産学官民の垣根を越えて未来のステークホルダーが集まり、仮説をつくる場（一般社団法人Future Center Alliance Japan (FCAJ) HPより引用）」



・『運動習慣ゼロの人に

より多く来ていただくための企画・広報について』（快足AC）
運動習慣がない方にもイベント参加していただくため
ランニングイベント「おてらんin本證寺」に向けて検討
（参加者：18名 9月5日実施）



・『次年度農園拡大にむけた新規会員獲得』（耕し人）

「ファミリー農園」に関して
次年度12区画→21区画拡大するにあたり
新規会員獲得に向けた方策を検討
（参加者：11名 11月20日実施）



■ 事業者間同士のコラボレーション企画実施

・三事業座談会（主催：株式会社スギ薬局）
ケンサチ事業にかける思いをそれぞれの生い立ちや背景から語った
座談会の内容はスギ薬局が配布する冊子に掲載

・「やさい朝市@スギ薬局桜井店」（スギ薬局×耕し人連携）

スギ薬局店舗にて、耕し人が主催する「やさい朝市」を開催
スギ薬局に所属する管理栄養士による、野菜の栄養価や
栄養バランスの取れたレシピ案などが添えられて販売が行われた



■ ケンサチフォーラム

出席者数：のべ**97**名が参加

- ・1年間のプロジェクトリポート
- ・白木夏子氏（株式会社HASUNA 代表取締役）
「幸せが生まれる仕事の創り方」
講話・トークセッション
- ・交流会



◆愛知サマーセミナー

7月16日(土)～18日(月) 於:東海学園大学・高等学校

■「第13回教育コーディネーターフォーラム2017」開催(7月16日実施)

テーマ:「これからの日本の教育～教育現場と社会をつなぐ架け橋～」

【ゲスト】

生重幸恵氏

(一般社団法人キャリア教育コーディネーター

ネットワーク協議会 代表理事)

藤井基貴氏(静岡大学 教育学部 准教授)

毛受芳高氏(一般社団法人アスパシ 代表理事)

【ファシリテーター】

本間正人氏(京都造形芸術大学副学長 教授)



◆大学連携の取り組み(産学連携)

愛知教育大学でのPBL(project based learning)における授業サポートを行った。

■星ヶ丘モデルプロジェクト 連携先:東山遊園株式会社、東海労働金庫、株式会社高瀬金型

■企画立案基礎 連携先:有限会社スパゲッティヨコイ、名古屋市総務局企画部大学政策室、NTTタウンページ株式会社

◆代表理事による会議等対外活動実績

■委員

文部科学省 消費者教育推進委員会 委員(文部科学省男女共同参画課)

愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略検証会議 委員(愛知県政策企画局企画課)

あいちICT活用推進本部有識者会議 委員(愛知県地域振興部情報企画課)

名古屋市教育委員会事務の点検・評価委員(名古屋市教育委員会)

刈谷市グローバル人材を活用したESD推進メニュー開発会議 委員(刈谷市市民協働課)

高浜市こども貧困対策会議 委員(高浜市福祉部)

環境教育・学習における「ESD推進」のための実践拠点支援事業 評価会議委員

(環境省中部環境パートナーシップオフィス)

東海若手起業塾 実行委員

■講演

豊田地区 地域推進会議(井郷交流館) 教員研修講師

蒲郡地区 地域推進会議(幸田高等学校) 教員研修講師

愛知県職員二年目研修(愛知県自治研修所) 研修講師

愛知県健康福祉部地域福祉課 子どもが輝く未来に向けたシンポジウム

(ウィルホール) パネリスト

愛知教育大学 キャリアデザインⅣ 講師

名古屋大学情報文化学部 「情報と職業1」 非常勤講師

◆その他の事業 なし

ビジョンブック完成のご報告



誰もが持っている、
勇気の種。

ASK NET
VISION BOOK

Be your own life's Gardener

この度アスクネットでは「2022年までに主体的な18歳を送り出す仕組みづくりとその実現に向けた活動をする」のビジョンに基づき、ビジョンブックを作成しました。

法人化15周年を節目にリニューアルしたアスクネット新ロゴのカラーイメージを大切にしながら、わかりやすい絵本形式のブックとなっています。

後半部分では、今後5年間で成し遂げる具体的な目標とともに、こういった社会を構築していきたいのかを簡潔にまとめさせていただきました。



ASK NET

特定非営利活動法人アスクネット

〒456-0006

名古屋市熱田区沢下町8-5 愛知私学会館東館3F

Tel: 052-881-4349 Fax:052-881-5567